



政治専攻「演習 I・II」

第II期第3次募集



【目次】

1. 募集について
2. 募集に関する注意事項
3. 選考方法
4. ゼミ内容

1. 募集について

【募集スケジュール】

第 1 次 募 集
終了しました。

第 2 次 募 集
終了しました。

第 3 次 募 集	
応 募 期 間	2025年3月25日(火)～4月3日(木) 12時50分
選 考 期 間	2025年4月4日(金)～4月7日(月)
合 否 発 表	2025年4月8日(火) 20時予定 / K-SMAPYIIにて

【応募方法】

K-SMAPY II より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

※K-SMAPY II からの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがありましたので必ず K-SMAPY II からの応募も行ってください。応募がない場合は無効になります。

2. 募集に関する注意事項

- (ア) 必ず応募期間に応募してください。応募期間外に応募は認められません。
- (イ) K-SMAPY II からの応募がなく、面接を受ける、または課題の提出だけをしているケースがありますので、必ず K-SMAPY II から応募も行ってください。
- (ウ) ゼミごとに募集対象者が決められています。応募登録前に、募集要項で、自分が応募できるゼミはどれかを必ず確認してください。もしも募集対象外のゼミに応募してしまった場合には不合格となりますので、十分注意してください。
- (エ) 担当教員によって選考方法（面接・レポート・テストなど）は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認のうえ、応募してください。
- (オ) 毎年ありますが、提出期限を超えたりレポートの提出は認められませんし、面接時間への遅刻・面接の欠席に関する取り次ぎは教務課では行いません。
- (カ) 演習の具体的な開講曜時は、時間割・シラバスで確認してください。
- (キ) 履修登録の際には、3次募集で応募した演習の開講曜時にほかの科目を登録しないように注意してください。合格した演習とほかの科目が重複した場合、演習が優先して登録されます
- (ク) 政治科目の演習は、政治専攻の「演習 I」「演習 II」との合併開講です。
- (ケ) 合格後に、他のゼミへの変更はできません。

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			提出方法	締切日時	面接日時	
小原 薫	・編入学生 ・転部・転科・転専攻	レポート	提出方法	メール送付 ohara@kokugakuin.ac.jp	小原ゼミへの志望理由と、最近関心のある社会、政治の問題	(書式)自由 (字数)8,000字程度
			締切日時	4月3日(水)17:00		
菊田 真司	・新3年生 ・新4年生 ・編入学生 ・転部・転科・転専攻生	レポート	提出方法	面接時持参	自己紹介とゼミの志望理由	(書式)A4 (字数)1,000字程度
		面接	4月5日(金)13:30~14:30		若木タワー7階 0712 研究室	
宮下 大志	【法律専攻】 ・編入学生 ・転部転科転専攻の方 ・4月に復学する方 ・再入学する方 ・現在当該ゼミ履修中の新4年生	レポート	提出方法	メール送付 miyashita@kokugakuin.ac.jp	【法律専攻の学生】 「これまでに最も興味を持った講義」 【政治専攻の学生】 「現在の日本の政治をどう評価するか」	(書式)自由 (wordもしくはPages) (字数)1200字程度
			締切日時	4月4日(金)19:00 ※いずれの場合でも、現ゼミ生はレポートを免除します。		
上神 貴佳	・新3年生 ・新4年生	レポート及び面接	提出方法	アンケート画面で回答	本演習を志望する理由 (メールアドレスを記入すること)	-
			締切日時	4月3日 (木) 12:50まで		-
			面接日時	4月7日 (月) 12時00分~12時30分	-	-
山本 健太郎	・新3年生 ・新4年生 ・編入学生	レポート	提出方法	メール提出 yamakenn17@gmail.com	ゼミの志望理由	(書式)Wordにて、用紙サイズA4 (字数)自由
			締切日時	4月7日 (月) 12時00分		

【3次募集の無い先生】

教員名	募集対象	選考方法	提出方法・レポート締切		レポート内容	備考
			提出方法	締切日時	面接日時	
姫野 学郎					募集無し	
甘利 航司					募集無し	
一木 孝之					募集無し	
稲垣 浩					募集無し	
植村 勝慶					募集無し	
岡田 康夫					募集無し	
小川 亮					募集無し	
川合 敏樹					募集無し	
坂本 一登					募集無し	
芝崎 祐典					募集無し	
高橋 信行					募集無し	
羅 芝賢					募集無し	
平地 秀哉					募集無し	
福岡 英明					募集無し	
藤嶋 亮					募集無し	
本久 洋一					募集無し	
山下 裕樹					募集無し	
楠田 和子					募集無し	
佐藤 俊輔					募集無し	
古賀 絢子					募集無し	

4. ゼミ内容

教員名	小原 薫
演習テーマ	現代日本の政治、思想を考える
演習内容	<p>足りない年金、選択制夫婦別姓、米中貿易戦争、ウクライナ紛争、パレスチナ問題等、日本を取り巻く問題は山積している。そうした中で、傍観者として臨むのではなく、何が問題なのか、より深く考えて考察する必要がある。</p> <p>小原ゼミでは、前期は、新書を中心に、現在の日本を取り巻く問題について、討論を行う。後期は、各自が設定するテーマに従って、調査・研究を行い、随時、中間報告を行いながら、一つのレポートとしてまとめることを目指す。</p> <p>無断欠席は認めない。積極的にゼミ活動に参加し、討論する積極的な学生の参加を望みます。</p>
教科書	ゼミ開始時に指定します。新書を2, 3冊予定
参考文献	
備考	

<p>教員名</p>	<p>菊田 真司</p>
<p>演習テーマ</p>	<p>ジョン・ロールズと現代政治哲学の基礎</p>
<p>演習内容</p>	<p>政治にかかわるさまざまな価値や考え方について、原理的に検討していくのが、政治哲学と呼ばれる分野です。50年ほど前にジョン・ロールズという政治哲学者によって、この分野に大きな転換がもたらされました。</p> <p>所得の再分配の問題を始め、多文化共存の問題、国際的な不平等是正の問題、世代間正義の問題、など、現代の諸課題に関する政治哲学的な議論のほとんどは、ロールズ思想から始まっています。(なお、ロールズのいう「正義」とは、「公正」のことで、「悪」に対する「正しいこと」という意味ではないので、注意してください。)</p> <p>今年度の演習では、ロールズ思想を検討することで、現代の政治哲学の基本的な考え方を理解することを目標とします。最近出たロールズ思想の入門書を使い、その要点を整理し、さらにロールズ思想の広がりについても考えて行く予定です。</p> <p>演習は、指定されたテキストを読み、担当者が報告した後で、全員で討論する形で行われます。また、演習参加者には、自分の好きなテーマについて論文を執筆してもらい、論文報告会で報告してもらいます。</p> <p>選考にあたっては、議論に積極的に参加する意欲のある人を優先します。</p>
<p>教科書</p>	<p>『今を生きる思想 ジョン・ロールズ 誰もが「生きづらくない社会」へ』、講談社現代新書、2024年 『ジョン・ロールズ 社会正義の探求者』、中公新書、2021年 神島裕子、『正義とは何か 現代政治哲学の6つの視点』、2018年</p>
<p>参考文献</p>	<p>マイケル・サンデル、『これから正義の話をしよう』、ハヤカワ・ノンフィクション文庫、2011年 ジョン・ロールズ、『公正としての正義 再説』、岩波現代文庫、2020年</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・面接日に都合が悪い等の連絡や、演習内容についての質問は、karita@kokugakuin.ac.jp までメールで送ってください。 ・「政治哲学入門」を履修済み・履修中・履修予定のいずれかであることが望ましいです(応募条件ではありません)。

<p>教員名</p>	<p>宮下 大志</p>
<p>演習テーマ</p>	<p>「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来、どうしたらいい？」</p>
<p>演習内容</p>	<p>日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。</p> <p>あなたは、現在の日本の政治、そして（ちょっと抽象的になってしまいますが）日本の民主主義についてどう思っているのでしょうか？</p> <p>また社会の状況としても、格差問題、女性の権利の問題などをどうするべきか、問いかねられている状況ではないかと思いますが、どう考えますか？</p> <p>どちらについても、人によって評価はさまざまでしょう。それが現状だと思います。</p> <p>そこで来年度のゼミでは、この日本の政治・民主主義さらには日本の社会について、多様な意見を持った人に集まってもらい、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかなどを論じてゆきたいと思います。</p> <p>そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということをおこなう予定です。</p> <p>そしてその際には、多少は欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。</p> <p>なお、応募者は、「これまでもっとも興味を持った講義」という題目で、これまで履修した講義のうち、もっとも興味を持った講義について、その内容を紹介しながら、そこから自分が何を考えたかを記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。</p>
<p>教科書</p>	<p>開講時に指定します</p>
<p>参考文献</p>	<p>必要に応じて紹介します</p>
<p>備考</p>	<p>オンライン面接は要項明記の日時で開始しますが、個別の面接となりますので個別の面接の開始時刻については、レポート提出のメールへの返信としてお知らせします。要項明記の日時に都合が悪い場合（できる限り都合を合わせてください）には、レポート提出のメールでお知らせください。</p>

教員名	上神 貴佳
演習テーマ	歴史としての平成と日本政治
演習内容	<p>平成も約 30 年をもって、令和という新たな時代を迎えることになった。歴史としての平成をどのようにとらえればよいのだろうか。とくに昭和との関連で平成の政治や経済、社会の課題を理解することを試みつつ、次の時代を展望してみたい。</p> <p>近年、平成を振り返るさまざまな書籍が出版されている。本演習の教科書としては、小熊編（2019 年）などを用いることにする。教科書の読破は、受講生に求められる最低限の課題である。複数のテキストを読み比べつつ、本演習のテーマ（歴史としての平成と日本政治）について、自分なりの理解を得られるように、各自が学習を進めてもらいたい。</p> <p>本演習の進め方については、グループに分かれて、報告班と質問班を交互に担当することを想定している。また、いずれの担当になるかによらず、毎回、参加者全員がレジュメを提出する。演習の最後には、各自が本演習のテーマに沿って、レポートを作成して提出してもらおう。</p>
教科書	小熊英二（編）『平成史【完全版】』河出書房新社，2019 年。
参考文献	<p>薬師寺克行『現代日本政治史』有斐閣，2014 年。</p> <p>佐藤優・片山杜秀『平成史』小学館，2018 年。</p> <p>など</p>
備考	

教員名	山本 健太郎
演習テーマ	選挙を科学する
演習内容	<p>2025 年は夏に東京都議会議員選挙と参議院選挙が予定されており、場合によっては衆議院選挙も実施されるかもしれません。本ゼミでは、現在進行形の選挙を題材に、選挙という人間ドラマを科学的にとらえ、分析することを目指します。</p> <p>まず初めは、選挙を科学するためのお手本として、書籍や学術論文を輪読します。一例として、選挙カーによる名前の連呼は効果があるのか、天気によって投票率は左右されるのかなどについて学びます。</p> <p>そのうえで、みなさんの多くが選挙権を得て間もない若年層の有権者であることを踏まえ、若年層と選挙の関わりについて、ワークショップ形式で分析します。具体的には、選挙は若い世代ほど投票率が低い傾向にありますが、それはなぜなのか、またどのような対策によって政治的関心を高められるかについて、当事者ならではの視点を出してもらいながらグループ形式で検討します。</p> <p>さらに、夏の都議選や参院選を題材に、候補者や政党の SNS 戦略やその実態について、リアルタイムで観察しながら追いかけます。投票率や選挙結果、選挙公約などについても情報をシェアして分析します。</p> <p>最終的には、選挙や政治に関するテーマ（内容は自由）を一つ選び、パワーポイントを利用して一人につき 20 分程度のプレゼンテーションを行います。</p> <p>このゼミではグループワークやプレゼンテーション、ディスカッションを多めに取り入れていきます。コミュニケーションが得意な人はもちろんですが、今は人前で話すのが苦手でも、ゼミで練習してスキルアップを図りたいという意欲がある人は参加を歓迎します。</p>
教科書	特になし
参考文献	必要に応じて、ゼミの際に紹介します。
備考	<p>担当教員の着任に伴い、本ゼミは令和 7 年度から新規開講されます。まだゼミ生がいませんので、履修者の希望に応じて内容は柔軟に変更しながら対応していきます。現在進行形の政治に興味があって、色々やってみたいことがあるという人は積極的に申し込んでください。</p> <p>質問などがある場合は、メールでご遠慮なくお尋ねください。 yamakenn17@gmail.com</p> <p>なお、演習の無断欠席は認められません。やむを得ず欠席する場合は事前に担当教員まで連絡することが求められます。</p>